

学習用具のきまり

- ◆ 学校は、勉強をするところです。
- ◆ 授業で困らないように、学習用具をきちんとそろえましょう。
- ◆ 学習に必要なものだけを持ってきましょう。
- ◆ 筆箱の中は、下書いてあるもの以外は、入れないようにしましょう。
- ◆ 持ち物には、必ず名前を書きましょう。

ふでばこの中

★ そろったら、○をつけましょう。

えんぴつ	けずった鉛筆（2B以上） 4～6本	こい字は、パッと書き出て見え頭の中に、入りやすいんだよ。
あかえんぴつ	けずった赤鉛筆 1本	こい鉛筆は、しんがやわらかく、たくさん字を書いてもつかれにくいよ
じょうぎ	定規（ふでばこに入る長さ）	計算する時に きちんと定規を使って書くと、計算ミスもへるよ
きしろけ	よく消える白い消しゴム	らくに消えると、またすぐに字が書けるね
ゆせい	ネームペン（油性） 1本	

☆授業に集中しやすくするためには、できるだけシンプルな学習用具を選ぶことが重要です。

子どもたちは、キラキラしたり、ゆらゆらしたり、においがついていたりと変わったものを持ちたがりますが、

学習のさまたげになるものを取り除いてやることで、しっかり話が聞けるようになります。

☆ふでばこは、中のものがそろっているか、一目でわかる箱形の物が望ましいです。

（缶のペンケースやチャック式のものは、あまりおすすめできません）

☆箱形筆箱・・・中のものがそろっているか、一目でわかります。



おりたためる定規は、こわれやすい、音がでる、手遊びをしてしまうなどの理由で、あまりおすすめできません。

◆おどうぐばこ

☆ひとつようなものが、わかりやすく、とりだしやすいようにせいりしましょう。

それいがいのものは、せんせいにいわれたときだけ、いれるようにしましょう。



三角定規は、学校で、一括購入します。必要な時だけ入れておきましょう。

2年生（はさみ・のり・クレパス・色えんぴつ・さんかくじょうぎ）